

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月に入ってから販売量、受注量が増えてきている。いつまで続くか分からないが、久しぶりに上向きの兆しがみられる。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店からの飲料の注文が、安定的に増えている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・7月に入り、クリアランスで忙しい。土日は親子連れによる来店が多い。安いからとまとめ買いをする客はそれほどいないが、必ず購入する客は多くなってきている。月後半になり、値下げ商品にサイズがないときに、妥協して安い物を買うのではなく、値段が高くてもサイズがありデザインが気に入った定価品を買っていく客が来店している。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・前年同月と比べて、ボーナス需要が増えている。単価は高くなっているわけではないが、購入件数が増えている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・梅雨明けとともに、飲料等を中心に売上はやや上向きである。天候がこのまま続けば、売上は今後も良くなる。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・新築マンション、新築一戸建て住宅、リフォーム等では、前倒し需要が出始めている。消費税増税前の駆け込み需要と思われる。企業の設備投資についても、順調に工事が増えている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	販売量の動き	・気温上昇の度に、季節家電の消費が増える傾向がある。前年は東日本大震災による節電特需があったため比較できないが、前々年に対しては伸長している。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	単価の動き	・夏の賞与が入り、客の財布のひもは少し緩くなっている。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（営業担当）	単価の動き	・来客数は若干の減少傾向にあるが、客単価はやや上がっており、売上をカバーできている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・7、8月に入ると、同窓会の流れで多少来客に動きが出るため、売上は多少伸びている。
		観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・夏休みに入り、家族連れの宿泊が増えてきている。ただし、お盆期間は既にいっぱいであるが、それ以外は少し出足が遅いように見える。前年のこの時期は異常なほど宿泊客数が多かったが、やはり今年は関東以北が強いのか、前年と比べて少ない。夏場の一般宴会は、例年ならば弱いですが、今年は見直しを図ったサマープラン、ビアプランが好調である。
		旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・社会全体の景気が上向いているとは思えないが、東日本大震災から1年4か月が過ぎ、自粛されていた個人旅行が元に戻りつつある。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・夏休みの旅行は、国内、海外共に順調に推移している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・ボーナスが支給され、昼間のタクシー利用、夜の繁華街の出入につながっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月はボーナス月であり、大相撲名古屋場所や花火大会などの祭りも多く、また、梅雨明け後に猛暑になったこともあり、タクシー利用客は大きく増えている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・IP系設備の需要増が今後も見込まれる。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客の話によると、ボーナスが入り、夏休みになっている遊びに出掛けている様子なので、景気は少し良くなっている。
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・夏休みに入ると人の動きが増え、それに伴い売上も増えてきている。ただし、入出はあっても、客単価は依然として低い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客を見ていると良い感じがある。円高のためではないか。	

一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・暑いため、客が街中になかなか出て来ない。
一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・スカイツリーや新東名高速道路の開業で、関東に客が流れている。また、駐車場の有料化によって、近隣観光施設で客離れが進んでいるため、影響が出ている。
一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・報道による影響のためか、客の気持ちが萎縮している。前々年はそれなりの高い物を普通に買っていた客が、今年に入ってから一番安い商品で通していることが多くなっている。女性もそうだが、男性もある程度の年齢の人がお金を使わなくなっている。そうしたことが続いているため、悪い景気の流れは変わらない。
一般小売店〔自然食品〕（経営者）	販売量の動き	・前年同月と比べて、3、4月の売上は5～10%落ち込んでおり、5、6月は若干持ち直したが、7月は確実に5%は減っている。購買商品が単価の低い物に移っている。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・梅雨と最近の暑さにより、朝の涼しい時間帯の来客数はまずまずであるが、午後になると大幅に減っている。商売をしているオーナーと色々な話をするが、なぜか本当に暇とのことである。前年の売上が取れない状態である。
一般小売店〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・毎年恒例の夏の売り出しがあり、前年を上回る実績になっている。中旬以降に猛暑が続き、来店客が減り厳しい状態になったが、前半の数字があったので前年実績をなんとかクリアできている。
百貨店（売場主任）	お客様の様子	・例年より猛暑になるのが遅いせい、中元需要が例年より1、2週間遅く来ている。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・月末になっても、セール商材のみを探している客が多い。良い物を安く買いたい気持ちが、いつも以上に感じられる。一般商品にはまだ購買意欲が感じられず、売上にはつながらない。
百貨店（販売担当）	来客数の動き	・天候不順、不透明な政治・経済、環境・安全面の不安定さが不安をまおり、客の心に晴れ間を作りだせないことを最近特に感じる。一人一人が自立する傾向が強くなり、従来のように大きな動きでの来店や購買がなくなっている状況である。常にあいまいさを抱えている顧客心理に、脱却の糸口が見出せない。
百貨店（店長）	来客数の動き	・来客数の落ち込みは止まっている。婦人衣料品の売上は、値下げにより堅調である。ギフト関連商材は不調である。
百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・高額品の需要については引き続き堅調を保っているものの、クリアランスセールの分散化により、セール品の販売に関しては盛り上がり若干欠いており、購買意欲を高めるまでには至っていない。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は、なかなか回復できない状況が続いている。欲しい物は特売価格になったときに買うといった、無駄なく買うような購買行動が身についている。中途半端な特売価格では買わない。
スーパー（店長）	単価の動き	・何でも売れるわけではなく、単価も下がっている。少しでも売上を取りたいので、単価を下げている。単価下落により、売上はかえって非常に厳しい状況になっている。
スーパー（店員）	販売量の動き	・し好品と呼ばれる菓子類の売上、数量が落ちてきている。それに伴い、1人当たりの単価も下がり、必要な物だけ買うという状況である。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・前年同時期と比べて、来客数が減少している。天候だけが原因ではない。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・客単価が上がらず、利益が出にくい状況が続いている。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・今月も全社的に前年割れの数字が続いている。当店でも前年より4%ほど悪い数字が続いている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上の前年同月比に、変化はあまりみられない。ただし、来客数の前年同月比は、前月と比較して少し伸張している。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・店舗売上が前年を下回る状態は継続している。

衣料品専門店 (販売企画担当)	お客様の様子	・同業他社が一度に3社廃業、倒産するなど、周囲の状況は一層悪くなっている。しかし、その分客が分散し、例年通りぐらいで推移している。
衣料品専門店 (経理担当)	販売量の動き	・従来の大型ショッピングセンターでは、販売量と来客数は、正比例とは言えないまでもほぼ比例していたが、最近はずしもそうになっていない。客単価の低下が顕著に進んでいる。
家電量販店(店員)	販売量の動き	・エアコンや冷蔵庫の販売台数のピークが前年と比べて遅くなっているのか、そもそも少ないのかわからないが、販売台数は少なくなっている。
家電量販店(店員)	来客数の動き	・3か月前と比べると、少なくとも客の出は良くなっている。物もそれなりに動き始めている。
家電量販店(店員)	販売量の動き	・今月に入り、エアコンが前年同月比140%を超える水準で推移しており、全体を押し上げている。しかし、相変わらず映像商品の台数の落ち込みが激しく、お盆過ぎの状況はあまり良くないと推測される。
乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・消費税増税などの話題や節電対策等により、出費を抑える傾向にある。
乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・以前と比べて乗換え需要が高まっている。買った方が得という考えが多い。これは補助金効果であると思われる。
乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・各世帯とも限られた支出のなかで、価格による選択意識が強い。
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年と比べて、来客数は伸びていない。
一般レストラン (従業員)	お客様の様子	・相変わらず、景気は低迷している。オリンピックが始まり、来客数が激減している。
スナック(経営者)	来客数の動き	・ボーナスが出そろい、例年ならば繁華街の人出が多くなる時期である。しかし、ボーナスカットの声を多く聞き、増税の話題等もあり、節約志向が高まるのは仕方がない。繁華街で私費で消費できる客は、ほとんどいない。売上は良くならない。
その他飲食[仕出し](経営者)	販売量の動き	・政治の不安定化、消費税増税への不安等に天候不順も相まって、消費はますます減少気味である。
観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・東日本大震災の発生から1年以上が経ち、3か月前と同様に、宿泊客数は前年同月比で15%ほど増えている。大幅に良くなったり悪くなったりしているわけではなく、勢いは変わっていない。
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・ボーナス支給後も、客足はあまり伸びていない。秋以降年末にかけての商品も発売しているものの、あまり伸びてこない。
旅行代理店(経営者)	単価の動き	・一時期と比較して、持ち直しているようには見えない。ただし、客単価や全体総数の動きは今一つである。
旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・例年ならば、夏休みを控えた時期は毎日忙しい状態が続くのだが、今年に限っては、忙しい日も当然あるものの、意外と時間が余る日もある。
旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・夏休みに入り家族旅行などの申込を期待しているが、思ったほどの成果は上がっていない。関西地方の計画停電や節電等による心理的な影響が原因か、旅行を控える傾向が原因かはわからないが、販売量は停滞している。
タクシー運転手	来客数の動き	・7月はボーナス月なので、夜の繁華街も多少人出があるが、今年は5、6月の平日と変わらない状態であり、前年よりもやや悪い。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・各企業のボーナスが出そろったとの報道もあるが、春先との違いを感じられない。
通信会社(サービス担当)	販売量の動き	・引越しシーズンが終わり、回線変更や新規の申込が減っている。
観光名所(案内係)	お客様の様子	・今まで5千円ほど使っていた人が、3千円ほどに支出を抑えるといった状況が続いている。
ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・7月半ば過ぎまでは、梅雨時とはいえ気温もさほど高くなり、そこそこの来場者数を確保している。前年同月比、予算比共にあまり差がなく進んでいる。5、6月の来場者数は月末5日間で予算目標を超えており、良くなっている。今月もまだ土日が残っており、期待できる。

	その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	販売量の動き	・土日のチケットは売れるが、平日のチケットは特典を付けても売れない。
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・UVカットの商品がよく売れているが、来月からはホームケアのセット販売を始めるので、大きな変化はない。
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・入浴用品の販売も引き続き低調であり、あまり変わらない。
	住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・消費税率が上がる前に、早めに購入しようとする傾向がある。
	住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来場者数は特に減少していない。契約数は少し伸び悩んでいる。購入を決定する要素として、値引きと並んで重要である税制面の方向性が不透明であることも、その背景にあるのではないかと。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・復興支援・住宅エコポイント制度が終了し、今は特に目立った動きはない。
	その他住宅〔住宅管理〕（従業員）	競争相手の様子	・消費税増税がほぼ確定しかけているため、駆け込み需要がかなり動き出している。土地、建物共に、客は動き出している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・前月と同様に来客数は横ばいであるが、客単価が下がってきている。駅売店での10個入と6個入の販売比率は、徐々に6個入へと移行してきている。
	商店街（代表者）	単価の動き	・ビジネスホテルを運営する客によると、稼働率が悪いとのことである。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・とにかく来客数が少ない。
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・中元商戦はやや苦戦している。ただし、前年は東日本大震災直後であったことと、節電により工場が平日休みの土日稼働であったことにより、前年同月と比較することはなかなか難しい。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・お中元に鉢植えの花や観葉植物を使う客が、徐々に減ってきている。他の商品にも同じことがいえると思うが、生活必需品ではない花に関してはそれが顕著である。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・7月はお中元で伸びるはずであるが、来客数が減り、売上も減っている。客は交友範囲を狭くし、お金を慎重に使っている。財布のひもが固くなっている。将来のことも考えてか、今のお中元を前向きには捉えていない。残念ではあるが、マイナス傾向である。
	百貨店（経理担当）	お客様の様子	・お中元、クリアランス共に、低調に推移している。お中元は、注文件数、単価共に悪化している。クリアランスも、集客は思ったほど伸びていない。ただし、宝飾品については堅調である。
	百貨店（営業企画・販売促進）	お客様の様子	・夏物セールが分散化し盛り上がりが見えなくなっており、全体的な販売減につながっている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・小売店、飲食店が客が来ないとこぼしている。前月と同様の状況にある。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・行きつけのイタリアンレストランの主人が、消費税増税の話題に女性は敏感で、来店回数が徐々に減っている、そのため売上が伸びないと言っている。このように、景気は決して良くなってはいない。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・周辺の大手競合店による主力商品の価格引き下げが新聞でも報道され、実施されている。また、中小小売店でも、週末を中心に価格力を強化したチラシを打ち出している。そのようなことが原因で、来客数が若干減少している。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・3か月前と比べて日中の温度差が大きくなり、暑さのため昼間の来客数が減少している。その分夕方に流れるかということ、そうした雰囲気は感じられない。
	スーパー（営業企画）	単価の動き	・地元自動車産業の先行きの計画がかなり厳しく、それに伴い客も引き締めた消費を行っているようである。来客数も少しずつ減ってきている。
	スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・競合店が安売りをモットーにしているため、この先、客は流れる。
	スーパー（商品開発担当）	販売量の動き	・総合スーパーと比較して、食品スーパーの落ち込みが激しい。中京圏は自動車産業を中心に好調が伝えられ、期待していたが、前年よりも気温が低く、飲料、アイスクリームを中心に大幅に悪化している。

	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年同月と比べて、来客数は50人以上減っている。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・猛暑で来客数は少ないが、少ない在庫で客単価はよく健闘している。しかし、消費意欲は、バーゲン中ではあるが見受けられない。
	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・客との会話のなかで、収入は減っているが支出は増えていることや、消費税率が上がりそうなことに対して不安を感じて、あまりお金を使わない様子がわかる。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の動き、来客数の動きは大体比例するが、今月はとにかく売れない。例年ならばもう少し売れてもよい月であるが、様子を見ていても売れない。5、6月はそこそこ良かったのに、今月は良くない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了を間近に控え、希望する車種が補助金申請に間に合わないため、購買意欲は低下している。車の購入を検討するきっかけにはなっていたが、駆け込み需要は多くは見られない。
	乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・経済施策の効果も、少し薄れている。
	乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・お盆前は基本的に新車が多く売れない時期なので、売れないこと自体は景気が悪くなっている理由にはならないが、それを差し引いたとしても、今の売行きは著しく鈍い。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了に向けて、駆け込み需要が見込めるはずが、販売台数は前年を大幅に割っており、かなり厳しい状況である。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・全体的に販売数量が減少してきている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数のうち、予約客の数が減少している。
	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・7月の宿泊売上は、前年同月比で減少している。宴会も厳しい。
	タクシー運転手	お客様の様子	・昼も夜も、タクシーの利用者数は激減している。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・夏のボーナス月にもかかわらず、依然として新規契約数は増えてこず、既存の加入者も低価格の契約に移行している。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・3連休や夏休みに入ってからのお休みの来客数の動きは良いものの、その他の曜日は低調に推移している。特定の日に限っては、レジャーへの消費がみられる。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数の動きが悪くなっている。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・暑くなり、通常ならば忙しくなるはずであるが、客はあまり来ない。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・景気は最悪である。
	設計事務所（職員）	お客様の様子	・業者や施主と打ち合わせしているなかで、景気が良くなりそうな話題は今のところ全く聞かれない。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・客からは、「消費税増税の行方を見極めてからでないと考えられない」と言われる。「増税が確定すれば考える」と話す客もいる。
悪くなっている	コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数の動きが悪くなっている。
	コンビニ（店長）	競争相手の様子	・近くに大手コンビニチェーンが新規出店し、その影響で売上は2割弱も減少している。
	その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・ボーナスが出ないとか、大幅にカットされたと話す客が多い。そのため、予約もキャンセルされる事態になっている。政治、経済問題で消費マインドが低下し、回復は見込めない。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・平日のディナー客が大幅に減少し、売上は春以降、弱含みまたは横ばい傾向にある。放射能汚染問題の影響で売上が落ち込んだ前年7月と比べても、減収である。
	テーマパーク（職員）	お客様の様子	・スカイツリーなど東京方面に出掛ける人が多く、前年同月よりも悪い。
	美容室（経営者）	それ以外	・今の店を始めて55年になるが、自身の体力が落ちて仕事のペースも落ちてきていることに加えて、客も高齢化し、病気になるなどして、来客数が減ってきている。

		理容室（経営者）	お客様の様子	・景気の良い話は聞かれない。また、相変わらず客は安い店に流れている。
企業動向関連 (東海)	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	出版・印刷・関連産業（経営者）	取引先の様子	・広告予算を捻出する取引先は、緩やかにではあるが増加しつつある。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・東日本大震災関連の受注及び半導体関係の受注が良い。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・引き続き、スマートフォン向けの部品製作用セラミックスの受注が順調である。ただし、値下げ圧力が強まりつつある。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が若干増加している。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・取引先の生産計画をみると、今後も増産傾向になっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・マンション、一戸建て共に、順調な売行きである。また消費者マインドも高い。
		金融業（法人営業担当）	取引先の様子	・自動車部品関連メーカーの生産が、高水準を保っている。
		不動産業（開発担当）	競争相手の様子	・消費税増税前の駆け込み需要の始まりか、マンションのモデルルームへの来場者数や成約戸数が増加しているように感じる。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・製造業を中心に、相変わらずIT開発の依頼が続いている。ただし、要員の調達が困難な状態も続いている。
変わらない		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・円高、節電の影響が出るかと思ったが、現時点ではあまり変わっていない。
		化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・四半期売上は、予算目標並みとなっている。国内は低調であるが、欧米を中心に海外は堅調に推移している。欧州金融危機の懸念や中国経済の低調傾向による影響は出ていない。
		化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前と比べて、身の回りの状況に変化は見受けられない。特に悪くなっているわけではないが、先行きへの不透明感があり、そのことが節約志向を定着させている。
		鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・4～5月の最悪期よりは多少ましであるが、受注量、販売量共に前年の東日本大震災による落ち込みからまだ立ち直っていない。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・思いのほか短納期の仕事が入ってきているが、単価が低く、忙しくても利益にはつながってこない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米、アジア共に、引き合い件数、受注金額に大きな変化はみられない。相変わらずの円高で、厳しい価格競争が続いている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・欧州向けの工作機械関連は概ね減速傾向にあるものの、電気・電子関連の受注量は若干増加傾向にある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・需要が一巡し、方向感がない状態である。
		電気機械器具製造業	取引先の様子	・設備投資の気運は停滞している。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・完成車メーカーからの注文数は、3か月前と比べて大差ない。円高の影響がある。
		建設業（営業担当）	取引先の様子	・周囲の情報によると、引き続き若干下向きということである。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・自動車を中心に、生産量は安定している。また、消費財の小売店販売も安定的である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・輸入貨物は増加傾向であるが、輸出貨物は前年割れが続いている。
		通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・自動車販売はエコカー減税等により好調であるが、住宅、建築、土木業界等は元気がない。上向きの状況が見えない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業は特別悪い状況にはなく、例年と比べてほとんど変わらず、横ばいという意見が多い。

	金融業（企画担当）	取引先の様子	・欧州問題の先行きが見えないこと、米国、新興国でも景気の減速懸念があること、またそれらに伴い円高傾向が続いていることから、個人投資家が動きづらい状況が続いている。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物件や価格の問い合わせはあるものの、商談には至っていない。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・会社の事務所のあっせん、仲介を担当しているが、ここしばらく動きは全くない。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・新規の依頼が少しずつ増えてきている一方で、今まで定期的に受注してきた物件の中で減ってきているものもあり、全体的にはほとんど変わっていない。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・チラシの減少が続いている。特にパチンコ店の減りが大きい。	
	行政書士	受注量や販売量	・貨物の荷動きは普通である。	
	公認会計士	それ以外	・顧問先の中小企業の業績は、依然として悪い状態にある。	
	会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・会社の業績は上向いてきているが、従業員の給与や賞与は増えていない。もう少し様子を見ようという雰囲気である。	
やや悪くなっている	食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・良くなる気配は感じられるものの、実際に回復しているようには思えない。受注状況も思ったほど改善しておらず、過剰な在庫が収益を圧迫している。	
	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・段ボールの仕入単価の上昇分を、販売単価に転嫁できていない。また、トレーなどの梱包資材でも値下げ要求が多いため、販売単価は上がるどころではなく、利益率は低下する一方である。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・地場産業のタイル及び食器業界が、住宅着工件数の低迷によって引き続き低迷しており、窯業原料を取り扱う当社も構造不況の真っ只中にある。	
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・欧州経済の落ち込みによって、受注量が減少している。ユーロ安の影響もあり、二重に影響を受けている。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・売上の前年同月比は、前年同月がプラス3.8%であるのに対し今月はマイナス1.8%であり、5.6ポイントも悪くなっている。荷物の動きも緩慢である。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・お中元が減っている。出足が悪く後ろにずれていることもあるが、前年よりも減少するであろう。	
	輸送業（エリア担当）	それ以外	・軽油単価について元売り8社ほどと毎月交渉するが、この3か月間ほど、軽油単価は下がり続けている。景気の停滞などによって、軽油が売れない状況にある。企業では仕事がないため、買い控えているということである。そうした傾向から、景気は悪くなってきている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・消費税増税前の駆け込み需要が、そろそろ出てきてもよいはずであるが、地方圏ではそれほど動きは出てきていない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・社員へのボーナス支給額は増えておらず、むしろ減少気味である。景気が悪い、物価が安くなっている、公務員への支給額を減らしているといった要因が聞かれる。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・かなりの円高になってきているが、全体的にはまだそれほど影響は出てきていない。2か月ほど後に影響が出てくるのではないか。その一方で、新しい案件はあっても、なかなか決定しない。競合他社は、まずまず忙しそうに働いている。	
	悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・中国の景気悪化が鮮明に現れている。
雇用関連 (東海)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・顧客の研究開発需要が堅調である。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・優秀な人材ならば正社員を採用したいと考えている企業が多くなっている。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有効求人倍率は、全国と比較しても上昇している。自動車製造業関連を中心に、生産が持ち直してきている。

	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・客からの引き合いが増えている。予算も確保できているようであり、順調に執行できているように感じる。
	アウトソーシング企業 (エリア担当)	求職者数の動き	・自動車大手8社が2012年上半期(1~6月)の生産・輸出実績を発表したが、そのうち5社の国内生産台数が増加している。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・エコカー減税等によって、下請企業を含む自動車関連の景況感が回復し、間接的に運輸・郵便業、飲食店・宿泊業、卸売・小売業、派遣業の景況感も一時的に回復している。
	職業安定所(次長)	採用者数の動き	・採用者数が、前年と比べて増加基調で推移している。4月以降、新規求職者の就職率も、前年を上回っている。
変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・求人の動きは、3か月前と比べてほとんど変わっていない。ソフトウェア技術者に関しては、以前と比べて求人数は間違いなく多くなっているが、人材がいない状態である。
	職業安定所(所長)	求人数の動き	・自動車部品等を製造している事業所からの新規求人数は、減少している。取引先からの生産受注はあるものの、円高やエコカー補助金等の終了を見据えて残業等で対応しており、新規求人には消極的な事業所も出始めている。その一方で、介護・福祉関係では、引き続き正社員の求人が増加しているが、応募者が少ないため雇用形態等を変更した募集が多くなっている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・求人数の増加傾向は継続しているが、正社員求人の比率は低下しつつあり、派遣求人の比率が伸びている。
	職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・求人数は伸びているが、求人募集の内容をみると、パート、臨時社員が伸びている状況である。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・地元の基幹産業である製造業を含めて、新規求人数の伸びは鈍化しており、横ばいが続いている。
	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数の伸びが鈍化している。
	民間職業紹介機関(支社長)	求人数の動き	・求人数は上向きであるが、採用意欲や納期の点で、まだ様子見の状況が続いている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社 (社員)	求人数の動き
人材派遣会社 (支店長)		求人数の動き	・求人数は、3か月前と比べて約1割減少している。前年同月と比較しても、1割強の減少となっている。
新聞社[求人広告] (営業担当)		求人数の動き	・自動車部品、建設業、人材派遣の求人数が鈍化している。
悪くなっている	-	-	-